令和6年度 校内研究の概要

研究
主題

「ゴール」を見据えてチャレンジし続ける生徒の育成（1年次） ～「確かな学力」を育成するための手立てと工夫～

研究
主題
設定
の
理由

本校は令和3年度から令和5年度まで、研究主題『未知・未体験のものに見通しをもってチャレンジする生徒の育成～教育課程の工夫を通して～』のもと、教科を対象とした授業研究と、教育活動の全てを研究の対象とした、本校独自の9つの研究集団（「マルシェ部会」）を立ち上げ、仮設検証を行った。その結果、従来の指導部とは別の枠組みで研究を進めることで、多様性や公共心・公德心といった新たな視点からも生徒の育成を図ることができた。また、活動の成果として、生徒の自己存在感の受容や共感的な人間関係を育成する力の高まりが見取れた。

その一方で、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果からは、「基本となる知識・技能を習得する力」「事象から課題やその特徴を理解し、身に付けた力を活用・発揮して課題解決に向かう力」「見出した根拠を基に自分の考えを持ち、多様な視点で解決方法を判断し表現する力」「他者の話を聞き、自分と異なる見方・考え方を取り入れて、自分の考えを再構築することができる力」に課題が見られた。また、生徒の実態からは、目指す姿を明確にして学びに向かう力や計画的に物事を進める力の不足を感じている。

これらをふまえて、令和6年度の研究主題を『「ゴール」を見据えてチャレンジし続ける生徒の育成～「確かな学力」を育成するための手立てと工夫～』に設定した。「ゴール」とは、すべての教育活動において、一人ひとりが目指す「なりたい姿」とし、生徒自らが「どんな自分になりたいか」、「どんなことができる自分になりたいか」、そのために「どんなことをしたらよいか」などを具体的にイメージし、その姿について教師と生徒が共有し、実現を図っていくことである。また、「チャレンジし続ける」とは、自らのゴールに向かって学習過程を調整し、粘り強く課題解決を図っていく姿をイメージしている。

本校は目指す生徒像として「自他を尊重し、主体的に考え、行動できる生徒（＝優しさ）」、「学びを生かし、夢や目標に向かって挑戦する生徒（＝逞しさ）」を掲げている。「なりたい姿」に向かって自らの学びを調整しながらチャレンジし続ける生徒を育成することは、本校の教育目標の実現に直結する課題であると考え本主題を設定した。昨年度までの研究で深められた各マルシェでの実践を校務部等の活動で継続しつつ、特に今年度は、昨年度からの課題である「基本となる知識・技能を習得する力」や「表現力」を鍛え、「確かな学力」を育成していくために、教科における授業改善に焦点を当てて取り組んでいく。生徒が明確な「ゴール」を描けるような課題設定の工夫を重ねるとともに、個別最適で協働的な学びを実現するための効果的なICT機器の活用方法を探りながら研究を深めていきたい。

研究の目標	<p>①自らの「なりたい姿」を描けるような学習課題を設定し、その学習過程で必要な資質・能力を習得しながら学びを深めていく姿</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」の中で自らの課題を追究するとともに、他者との関わりの中で思考を広げたり深めたりしようとする姿</p> <p>③振り返り活動を通して自らの学びを自覚し、自己調整を図っていく姿</p>			
研究の内容	<p>〈視点1〉学習課題設定の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元で目指す資質・能力をより具体的に想定し、生徒と共有する。 生徒にとって必要感や有用感がある魅力的な学習課題を設定する。 課題を受け、生徒自らが「なりたい姿」「つけたい力」を想定する場面を設定する。 <p>〈視点2〉「主体的・対話的で深い学び」を実践するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学びの実施（ICT機器の利活用）により、自らの課題の追究を促すとともに、情報活用能力も育成する。 協働的な学びの実施により、多様な他者と協働しながら自らの考えを広げたり深めたりする資質・能力を養う。 <p>〈視点3〉振り返り活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の変容が分かる振り返りの仕方を工夫する。 次の学びにつながる振り返りを行うとともに、自己調整力を養う。 			
研究の方法	<p>① 定期的に、または必要に応じて研究推進委員会を開き、検討、調整、確認を行う。また、全職員の共通理解をよび学年部会等で生徒理解を図る。</p> <p>②定期的に学年・教科部会を開き、教科の研究テーマ・具体的な手立て等を検討し、授業研究を積み重ねる。（学年・教科部会における事前および事後研究の充実化）</p> <p>③ICTの利活用に関する校内研修会の実施</p> <p>④7月（道徳）、9月（5教科＋1技能教科）の校内授業研究会を実施する。また、研究会での授業提供がない教科部会については、11月までに授業研究を行い、各事後研究会での学びを通し、授業改善を図る。</p>			
研究の計画	<p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修会①（研究の概要について） 校内研修会②（授業づくりの視点について） 学年部会・教科部会 校内授業研究会①【道徳】 ICT研修会 教科部会 校内授業研究会②【5教科＋1技能教科】 	<p>～11月</p> <p>1月</p> <p>2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研究会で授業提供がない教科の授業実践 学年・教科部会にて、校内研究のまとめ 研究推進委員会にて今年度の成果と課題のまとめ 研究紀要によるまとめ 来年度に向けて検討